

事例から学ぶ 休眠預金活用助成金セミナー

有効な資金支援 & 非資金的支援のあり方

NPOやNPO支援者のみなさんを対象に、休眠預金等活用制度の改正のポイントや資金支援、非資金的支援*の取り組みや成果について事例と共に学ぶセミナーを開催します。

* 助成金の提供以外の団体の活動や運営に対する支援のこと（例：地域の専門家や協力団体とのつながりづくりの支援）

? 休眠預金等活用制度とは？

改正の
ポイントは？

実際どのように
活用されている？

休眠預金等を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度です。2019年度からNPO等の民間公益活動を行う団体への助成が実施されています。2023年6月に休眠預金活用法の法改正が実施され、非資金的支援を専門に行う「活動支援団体」が設けられるなど、支援がさらに拡充されました。

<参照> 民間公益活動促進のための休眠預金等活用 - 内閣府
https://www5.cao.go.jp/kyumin_yokin/index.html



日時

2023年**11月29日(水)** 13:30 ~ 16:00

対面

あいち NPO 交流プラザ・会議コーナー

参加方法

オンライン **Zoom** を活用したウェブ会議で実施

※オンライン申込者には、11月27日(月)までにお申込時にお知らせいただいたメールアドレスへオンライン (Zoom) のURLをお送りします。

定員

対面 20名、オンライン 30名 (先着順)

対象

活動資金の獲得を検討されているNPO、NPO支援者等

申込方法

- ・ **Webフォーム** からお申し込みください。
- ・ もしくは、下記の内容を **E-mail** にてご送付ください。
 (1) お名前 (2) ご所属 (3) TEL (4) E-mail (5) 参加動機
- ・ 申込書にご記入いただき、**FAX** / **郵送**でお送りいただくことも可能です。

お申込み
お問合せ

特定非営利活動法人ボランタリーネイバース

〒461-0005 名古屋市東区東桜 2-18-3 コープ野村東桜 702
 TEL : 052-979-6446 (平日 10時~18時) FAX : 052-979-6448
E-mail : vns@vns.or.jp

申込締切

11月27日(月)

お申込み Webフォーム



<https://forms.office.com/r/mnsg1PcChB>

申込書 (Webフォーム・E-mailからもお申込みいただけます)

申込締切：**11月27日(月)**

おなまえ お名前	ご所属 役職	TEL	
		E-mail	
参加動機			

団体・各プログラム要旨紹介

指定活用団体

講師：

おおかわ まさはる

大川 昌晴 さん（一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA） 事務局長・総務部長）

一般社団法人日本経済団体連合会により設立され、2019年1月に休眠預金等活用法に基づく指定活用団体に指定された。2019年～2022年度に累計232の資金分配団体を採択し、助成予定総額は221.1億円に上る。

講演

「休眠預金制度の改正のポイント」

- ・休眠預金等活用法の改正点、ポイントの整理（スタートアップ支援、出資の開始、活動支援団体の創設など）、制度の実装のスケジュール
- ・社会的インパクト評価の基本的な考え方の紹介と最新の活用状況
- ・2023年度公募情報

資金分配団体

報告者：

たかはし じゅん

高橋 潤 さん（公益財団法人長野県みらい基金 理事長）

長野県を拠点に活動するコミュニティ財団。NPO等の公共的活動団体への寄付金を集め助成を実施してきた。休眠預金助成の資金分配団体として、6つの助成プログラム（草の根（地域）、イノベーション、災害支援、コロナ緊急支援）を運営し休眠預金を原資とした助成を行っている。

事例報告1

「資金分配団体による非資金的支援の実際」

- ・休眠預金の助成プログラムを通じて実行団体に対して行った非資金的支援についての紹介
- ・草の根（地域）助成の「地域支援と地域連携事業」における実行団体への非資金的支援が生んだ成果・課題についての報告

実行団体

報告者：

はっとり ふみ

服部 文 さん（一般社団法人仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ 代表理事）

病気の治療を続けながら働く人を支援する団体。2019年度の草の根活動支援事業（全国ブロック）で、資金分配団体の公益財団法人日本対がん協会から休眠預金助成を受け「愛知県におけるがん患者の就労支援モデル構築事業」を実行団体として実施した。

事例報告2

「休眠預金助成事業を通じた非資金的支援を受けた成果」

- ・休眠預金助成を通じて資金分配団体から受けた非資金的支援がどのように団体の事業のあり方に影響を与えたか
- ・非資金的支援は組織基盤強化につながったのか

パネルディスカッション

「資金支援と非資金的支援のシナジー効果*を創出するには？」

休眠預金事業の特徴でもある、資金支援と非資金的支援のシナジー効果のポイントについて、パネラー、モデレーターと意見交換し検討する。*相乗効果。複数の事柄がお互いに作用し合い、効果や機能を高めること。

パネラー：JANPIA、長野県みらい基金、仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ、愛知県

モデレーター：三島 知斗世 さん（一般財団法人中部圏地域創造ファンド（CCF） 主任研究員）

あいちモリコロ基金の理念と成果を継承し設立された一般財団法人として助成活動に取り組む。2019年度に初めて資金分配団体に採択され、草の根活動支援事業2019・2021年度（地域）として、16の実行団体（愛知県内は8団体）、新型コロナウイルス対応緊急支援助成（2020～2021年度）の実行団体（愛知県内は22団体）に休眠預金を原資とした助成を行った。

お申込み
お問合せ

特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ

〒461-0005 名古屋市東区東桜 2-18-3 コープ野村東桜 702

TEL：052-979-6446（平日10時～18時） FAX：052-979-6448

E-mail：vns@vns.or.jp

申込締切

11月27日(月)

お申込み Webフォーム →

